

St!Louis

完全に中央の場所にあり、交通が非常に便利です。

St!Louis

完全に中央の場所にあり、交通が非常に便利です。

1 大セントルイス圏の簡単な解説

5 有利なビジネス環境

9 労働力と教育

13 場所と経済成長

17 すばらしい日常生活

本要旨は、大セントルイス圏に関する本質的に正確な情報の要約を提供いたしております。もっと多くの情報をお知りになりたい場合には、www.gotostlouis.orgを訪れていただくか、314-231-5555に直接お電話ください。

大セントルイスは圏、優秀な労働力、優れた教育・文化施設、素晴らしい娯楽の機会に恵まれており、利便性と手頃さがバランス良く保たれていおり、米国の中心に位置していることや優れた交通機関が発達していることでグローバル経済圏で競争し連結している発展的な企業にとって、理想的な本拠地になります。

大セントルイス圏の簡単な説明

好ましいビジネス環境

大セントルイスには、立ち上げ企業から成功を収めているためのどの発展段階にある企業をも支援するために、先進技術、豊富な融資、好ましい法的環境、奨励や税金の競合構造など民間主導の開発方式と革新的な文化があります。

高度で幅広い技術を持つ労働者

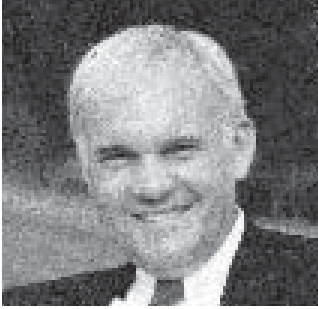
地域の非常に優れた大学、総合大学、および他の教育施設だけでなく、非常に多様で洗練された地域経済を持つ経験の影響を反映して、当地の労働者は、生産的で教養があります。

戦略的な位置

当地は米国の地理および人口の中心地近くに位置しており、2つの州にまたがっている経済的な多様性だけでなく、各種の交通機関により国の広大な地域と迅速で便利ながらを提供します。

素晴らしい生活の質

この地域では職場近くに住むことが可能です。新しい住居者は、この大都市が驚くほどの手頃な価格と利便性、アクセス、連帯感がある事業資産、文化資産、娯楽資産を組み合わせる地域独特の特徴を作り出していることに良い印象を受けています。



「50年前、父は車7台と深い信仰で、エンタープライズレンタカー (Enterprise Rent-A-Car) を当地で設立しました。セントルイスによってチャンスを得、エンタープライズ社は隆盛となり、北米で最も大きなレンタカー会社になりました。この地域には、教養がある労働力を提供する国際的な教育機関が豊富にあります。そして、当地の人々は、一生懸命に働いて、互いに気を付け合うので、どんな社風にとっても良い属性となります。」

アンディー・テイラー (Andy Taylor)、セントルイス郡、エンタープライズレンタカー代表取締役社長兼会長

最近の拠点と拡大

セントルイスは、植物科学、医学、先端製造業、情報技術、運送および流通、金融業務などの主要成長産業における賢明な企業を魅了しています。

アメリカン・ファミリー・インシュランス (American Family Insurance) この投資会社ミズーリ州Creve Coeurの地域業務センターでは200名の従業員が勤務しています。総投資額は5,450万ドル以上に上り、従業員の平均年俸は39,700ドルです。

エドワード・ジョーンズ (Edward Jones) 今後10年以内に最低1,000名の従業員雇用、今後5年以内にセントルイス郡の本社に2億6,000万ドルの業務スペースおよび駐車場構築するという拡張計画を10月に発表しました。

エクスプレス・スクリプト (Express Scripts, Inc.) フォーチュン500社に入るPBM (ファーマシー・ベネフィット・マネージメント) は1992年にセントルイスに設立され、ミズーリ大学セントルイス校内にある新しいビジネスパークに5,000万ドル、32万平方フィートの本社を建設しました。

ファイヤーマンズ・ファンド・インシュランス・カンパニー (Fireman's Fund Insurance Co.) セントルイス郡の既存業務の他に、保険請求担当者145名を新たに雇用中です。業務拡張の一環として、顧客販売とサービスセンターが新たに全国的にオープンし、独立代理店のネットワークをサポートしています。社員増加により、セントルイス郡のファイヤーマンズ・ファンド施設ではおよそ370名の従業員増加を予想しています。

モンスターコマース (MonsterCommerce) 米イリノイ州セントクリア郡を拡張場所として選定。事業総投資額1,650万ドル。新規従業員188名および平均年俸40,700ドルが予想されています。

ファイザー株式会社 (Pfizer Inc.) ピルや最新生物学的製剤の開発のために、1億ドルを投じて研究やパイロットプラント (実験工場) 施設を向上する計画を発表しました。また、その他に、2億ドル研究施設が来年末に完成予定です。

ロイターアメリカ (Reuters America) 世界的な本情報企業は、ソフトウェア開発センターのひとつをセントルイスに設立しました。また、米国内の顧客関連管理センターを当地に統合しました。

スペクトラム・ブランド (Spectrum Brands) スペクトラム・ブランド社は米アトランタに本社を置き、イリノイ州エドワーズビルズのレイクビュー・コマース・センターに100万平方フィート以上を賃貸しています。当センターでは、ペットケア、電池、殺虫剤、肥料などの製品をアメリカ中西部に提供しています。当事業によって、今後、従業員30名の雇用予定と共に、新規資本投資額は2,720万ドル相当に上ります。

資額は2,720万ドル相当に上ります。

ビステオン・コーポレーション (Visteon Corporation) クライスラー社の10億ドル拡張事業をサポートするために、新規組立事業の立地として米ミズーリ州ユーレカを選択しました。ビステオン社はダッジ・ラム車の内装をアップグレードするための製品を提供しています。

主要企業

大セントルイスには、フォーチュン1000に入る企業の本社が21社あり、そのうち、フォーチュン500に入る企業が8社あります。また、セントルイスにはエンタープライズレンタカー (Rent-A-Car) やエドワード・ジョーンズ (Edward Jones)、ユニグループ (UniGroup) など全国規模の大手株式非公開企業の本社が多数あります。

セントルイスに本社を置くフォーチュン1000社

エマソン (115)	エナジャイザー・ホールディングス (636)
クスプレス・スクリプト (132)	ソルティア (659)
アンハイザー・ブッシュ (146)	A G エドワーズ (687)
スマーフット・ストーン・コンテナ (303)	アーチ・コール (744)
モンサント (332)	ブラウン・シュー (752)
アメレン (339)	ファニチャー・ブランド・インターナショナル (764)
チャーター・コミュニケーションズ (409)	センテン (792)
ピーボディー・エネルギー (431)	ケルウッド (841)
グレーバー・エレクトリック (450)	ラデデ・グループ (860)
オリン (625)	ラルコープ・ホールディングス (905)
	シグマ・アルドリッチ (924)

出典:「フォーチュン」2007年4月17日号

*ワコビアによる買収審査中

**本社セントルイスおよびシカゴサーキンス (Sarkins) の2箇所

セントルイスに本社を置く上位株式非公開の会社

エンタープライズレンタカー (21)	ストラクシオン (177)
グレイバー・エレクトリック (50)	ワールドワイド・テクノロジー (192)
エドワード・ジョーンズ (89)	マリッツ社 (297)
シュナック・マーケット (148)	アルベリア (376)
ユニグループ (157)	エイベックスオイル (384)
マッカーシー・ビルディング・コン	

出典:「フォーチュン」2007年11月9日号

大セントルイス圏は、合衆国で18番目に大きい大都市統計地域(MSA)です。

2.8 百万人

ミズーリ州の中東部と
イリノイ州の南東部
を合わせた人口

評価と順位

近年、大セントルイスは様々な分野で全国的に評価を得ています。若干の詳細：

有利なビジネス環境

KPMGでは労働、施設、輸送機関、光熱費、所得税などを考慮した影響について調査しており、2006年競争代替調査によると、セントルイスはビジネスの費用競争率が全国の23都市/区域(人口150万人以上)の中で10番目に高い地域として選ばれました。

エクспанション・マネージメント(Expansion Management)誌では2006年トップ・ビジネス・チャンス・メトロの中で、セントルイスを5スター都市としてランク付けています。各都市の公教育、医療費および予約状況、ロジスティック基盤などの分野を考慮した上、全国大都市トップ20%に与えられます。

フォーブズ(Forbes)誌はビジネスを行うための価格調査(2006年)の中でセントルイスを200大都市圏の中から27番に手頃な価格としてランク付けています。

戦略上の立地条件

セントルイスは、地理的かつ人口的な面でもアメリカ合衆国の中心近くに位置しています。また、3本の主な川の合流点にあり、4本の州間ハイウェイ、第一種鉄道6本、セントルイス・ランバート国際空港を利用できます。

エクспанション・マネージメント・アンド・ロジスティックス・トゥデイ(Expansion Management and Logistics Today)誌による2006年ロジスティック指数調査によると、セントルイスは米国大都市圏の中でもロジスティックで友好的な都市として第6位に選ばれました。調査は、地元の輸送および配送(T&D)産業、T&D労働力、道路施設、道路混雑状態、道路状況、週間ハイウェイの利用状況、自動車税および料金、鉄道の利用状況、水上輸送機関の利用状況、空輸貨物の利用状況などに分類されています。

セントルイスは、国で2番目に大きい内陸の港があり、主要な鉄道の第3位の中心地です。

ミズーリ州セントルイスは、エクспанション・マネージメント誌の中の2006年トップ40リアル・エステート・マーケットで第29位にランク付けられています。

セントルイスから500マイル以内に米国の3分の1の人口が、1,500マイル以内に北米人口の約90%が居住しています。

オフィシャル・エアライン・ガイドによると、20航空会社がランバートセントルイス国際空港から90ヶ所の目的地に向けて直行便を運行しています。一日に390便が運行しています。10億ドルの滑走路拡張工事が2006年に完成し、1億500万ドルのターミナル修復工事が始まったばかりです。

高度で幅広い熟練労働

2005年 国勢調査のアメリカン・コミュニティ調査(Census' American Community Survey)によると、学士号、修士号、専門学位を持つセントルイス住民の割合は全国平均を上回っています。

エクспанション・マネージメント・アンド・ロジスティックス・トゥデイ(Expansion Management and Logistics Today)誌による2006年ロジスティック指数調査によると、セントルイスの労働力は国内362都市圏の中で第一位にランク付けされました。

書籍販売、学業成績、インターネット資源、図書資源、新聞流通、定期刊行物などを元にした2006年の調査によると、セントルイスは識字能力人口が国内で12番目に高い数値を示しています。

バテル記念研究所によると、セントルイスの生命科学の労働者数は国内最大の一つであり、従業員数は約80,000名以上です。

米国勢調査局によると、セントルイス圏にはコンピュータを専門としたIT労働者、管理者、専門家、および関連従事者が全国平均よりも高い比率で集中しています。

工業国勢調査による調査では、セントルイス地域の製造業労働者の生産性水準は、米国平均を18.7%上回っています。

エクспанション・マネージメント誌は人的資源、教育機関、R&D支出を元に調査を行ったところ、5スター博識労働者都市としてランク付けされました。

質の高い生活

2006年全国住宅建築業者協会(National Association of Home Builders)によると、セントルイスは全国で2番目に家を手ごろな価格で入手できる大都市圏であると報告しています。

セントルイスには、100以上の公園およびサイクリング、ジョギング、散歩用の約200マイルにわたるコースがあります。

2006年エクспанション・マネージメント誌のトップ・クオリティ・オブ・ライフによると、セントルイスは4スター都市としてランク付けられています。

セントルイスには世界に名高い芸術と文化の施設があります。たとえば、ザガット(Zagat)誌でNo.1と評されたセントルイス動物園、世界で最も重要な植物園の一つであるミズーリ植物園(Missouri Botanical Garden)そして、国内最古で最大の野外劇場である市立オペラ劇場(Municipal Opera)などがあります。

セントルイスは、キプリング社・パーソナル・ファイナンス誌の2006年50スマート・プレイス・トゥ・リップの中で全米で18番目に住みやすい場所として選定されました。この調査は住宅価格の中央値、物価、経済的活力、教育、ヘルスケア、地域の美術、娯楽施設などを基に行われました。



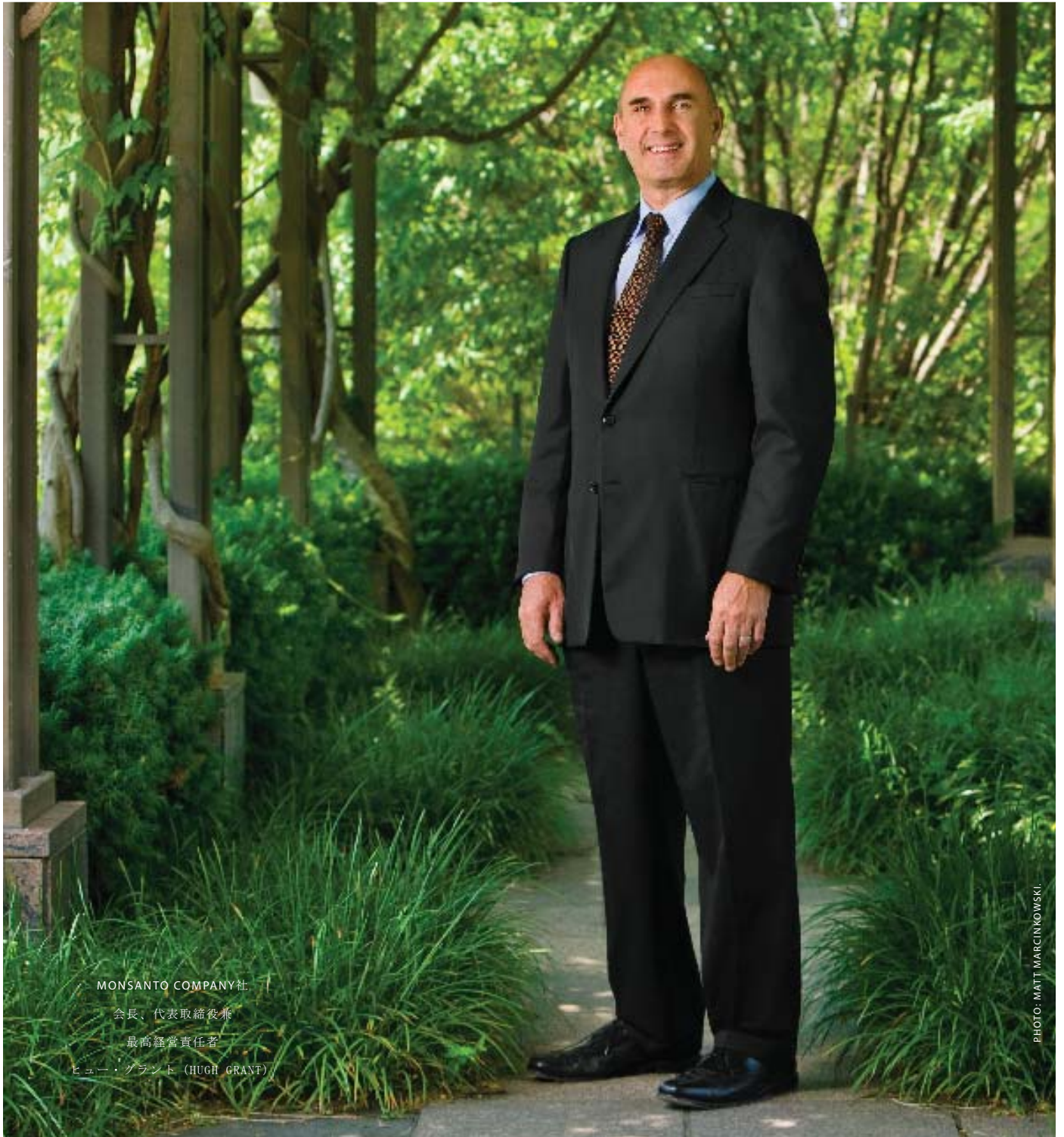
PROJECT ACCOUNTANT, HOK, ST. LOUIS



BOEING F-15 EAGLES



ASSISTANT OPERATIONS MANAGER, GENCO



MONSANTO COMPANY 社

会長、代表取締役兼

最高経営責任者

ヒュー・グラント (HUGH GRANT)

PHOTO: MATT MARCINKOWSKI

多数の新規事業とフォーチュン1000の企業が、当地に拠点を置いていることから明らかに、大セントルイスには、革新を促進する民間主導の開発方式のビジネス文化があります。ミズーリ州とイリノイ州は、医療補助と良い給料の仕事を提供する企業のために経済的優遇制度を積極的に提供しています。

有利なビジネス環境

地域上位の会社(雇用者数)

従業員数10,000人以上

BJCヘルスケア*
ボーイング防衛統合システムズ*
シュナック・マーケット社*
スコット空軍基地*
SSMヘルスケア*
米国郵政公社
ウォールマート
ワシントン大学セントルイス校*

従業員数5,000~10,000人

AT&T
アンハイザー・ブッシュ・カンパニーズ*
セントルイス市*
クライスラー組立工場
ダイヤバーク・マーケット*
マクドナルド
セントルイス大学*
セントルイス郡教育委員会専修学校*
セントジョーンズ・マーシー・ヘルスケア*
セントルイス公立学校*

出典: セントルイス・ビジネス・ジャーナル、ダン&ブラッドストリート、InfoUSA、ソーキ
ンズ、セントルイスRCGA

*本社大セントルイス圏

**ワコビアによる買収審査中

従業員数3,000~5,000人

A.G.エドワーズ・アンド・サンズ* **
アメレン社*
シティグループ
エドワード・ジョーンズ*
エンタープライズレンタカー*
ゼネラルモーターズ
モンサント社*
ロックウッド教育委員会*
ショップ・アンド・セーブ食料倉庫
セントルイス郡政府*
USバンコープ
USスチール
UPS宅配便

従業員数2,000~3,000人

アメリスター・カジノ
コピディエン・イメージング・ソリューションズ・アンド・ファーマ
スーティカルズ
デルマー・ガーデンズ・エンタープライズ*
エマーソン・エレクトリック*
ハレーズ・メリーランドハイツ
マリツ社*
マスターカード・インターナショナル
ファイザー社
シグマ・アルドリッチ社*
テネット・ヘルスシステム・メディカル社
ミズーリ大学セントルイス校*
ペライゾン
ベテランズ・ヘルス・アドミニストレーション

高度成長の産業と機会

バテル記念研究所 (Battelle Memorial Institute) は、この地域における成長のため、最良の機会を提供するものとして明らかとなりつつかつ、確立された5つの事業集団を特定しました。

ビジネス集団	重要な企業	集団内非雇用者数
先端製造業	ボーイング、クライスラー、エマーソン、ゼネラルモーターズ、GKNエアロスペース社、MEMCエレクトロニクス・マテリアルズ	
金融業	A.G.エドワード、シティ・モゲージ、エドワードジョーンズ、スコットトレード、ステイフェル・ニコラウス	
情報テクノロジー	マスターカード・グローバルテクノロジー・アンド・オペレーションズセンター、キロジー、ロイター、SAWIS、ワールドワイドテクノロジー	
植物科学および医学	セントコール・バイオロジクス、コピディエン・イメージング・ソリューションズ・アンド・ファーマスーティカルズ、ドナルド・ダンフォース植物科学センター、フォーレスト製薬、KV製薬、ミズーリ植物園、モンサント、ファイザー、シグマ・アルドリッチ	

出典: 合衆国労働統計局 (US Bureau of Labor Statistics)、2005年



「1996年の創業以来、この地において私一人で事業を始めてから今日、120名の従業員になるまで発展しました。当地は立派な教育を受けた労働力を提供してくれ、中西部の労働倫理は本当に存在します。全国的に卓越した教育機関があり、中心部に位置しているので電子通信や交通費に高額な費用を費やす必要がありません。この点は新興企業にとって大切なことです。」

セントチャールズ所在のニューベリーグループ社、
創立者であり代表取締役社長のブレンダ・ニューベリーさん

起業家精神

セントルイス圏は、技術革新と起業家にとって肥沃な土地であり、ますますその傾向は強まっています。当地は、先進技術育成施設の数と質において全国的なリーダーと成っています。2000年以来、10億ドル以上のベンチャー資本が、この地域の技術会社に投資されてきました。これらと他の開発によってセントルイスは中西部における技術革新のセンターとして確立しつつあります。

技術の育成とテナント

国家事業育成協会が定めた、全国トップ10の技術育成施設のうち2施設が、当地にあります。

100,000-平方フィートのセンターでは、先進技術と他の知識集約型席行を育成しています。テナントには、医療機器としてのコンピューター支援磁気ナビゲーションを提供している株式上場企業のステレオタクシス (Stereotaxis) (STXS、NASDAQ)、早期ガン診断製品を開発している オリオン・ジェノミクス (Orion Genomics) があります。

科学的企業のためのニダス・センター (Nidus Center、訳者注：巣、あるいは安全な繁殖地<ラテン語>)、40,000平方フィートのこの施設は、新しい植物科学技術や生命科学技術を市場へ提供するために改良し準備を行っているクライアントが利用しています。テナントには、エーパスLLC (Apath LLC)、クロゲン会社 (Chlorogen, Inc.)、クイック・スタディ・ラジオロジー (Quick Study Radiology) があります。

不動産

ミズーリ州とイリノイ州の境界線地域に広がる16郡では、7つ以上の代表的な二次市場があり、ダイナミックな不動産市場を展開しています。

大セントルイスには、1億5,000万平方フィート以上のオフィス空間を維持しており、そのうち30%はクラスAです。

不動産 (続き)

2006年の終わりには、クラスAとクラスBの空き室率は、それぞれ9.7%と12.2%でした。当地の産業用不動産市場も非常に好調で、2006年には2億5,000万平方フィート以上のうち1,200万平方フィート以上が空室でした。2006年にはおよそ2,100万平方フィートの産業用空間が利用され、さらに3,000万平方フィートが追加されました。2006年末には、さらに3,000万平方フィートが建設されました。2006年末の空き室率は全体的に7.3%でした。

セントルイスのダウンタウンは、1999年以来、高層コンドミニアムやアパート、新築・改築オフィスビル、ホテル、連邦裁判所などの様々な事業に3億ドル以上が投資されており、近年、最も活気ある市場のひとつです。さらに、セントルイス・カージナルスの新しいブッシュ・スタジアム (Busch Stadium) に加えて、2007年にはさらに1億ドルが投資されてボールパーク・ビレッジ (Ballpark Village) の補足が計画されています。

ミズーリ州とイリノイ州の両州の一部の地域で行われている土地開発によって、重要な商業および産業の用地として大都市圏中で利用いただけます。

建設費用指数

	工場	倉庫	事務所
米国平均	\$68.00	\$54.00	\$107.00
セントルイス	\$70.65	\$56.11	\$111.17

出典: 2006年 R S ミーンズ・ビルディング・コンストラクション・コスト・データ・ブック (RSMeans Building Construction Cost Data Book)

注記: 事務所費用のデータは低・中高層ビル (1~10階建て)

ミシシッピ川とミズーリ川、イリノイ川の合流点にある
セントルイス港は全米で2番目に大きい内陸港です。

25 百億

航海トンマイルがセン
トルイスの港で取り扱
われました

コスト、税制、優遇システムによる優位性

手頃な家の値段と生活費に加えて、他に負けない税率とこの地域にある企業が経費を抑えて競争力を増すために、大セントルイスは 様々なプログラムを提供しています。

税金

セントルイス地域のビジネスは、ミズーリとイリノイ両州の有利な税制環境に恵まれています。ミズーリ州の法人税、消費税、財産税は、わが国で最低です。無党派の税財団法人 (Tax Foundation) はミズーリ州の事業税制を50州中15位に、イリノイ州を25位に位置づけています。全般的に見て、他の優遇措置を考慮に入れなくても、大セントルイスはビジネスを行うために合衆国で最も有利な地域です。

優遇措置

ミズーリ州とイリノイ州は、起業やビジネス拡大の際の運営コスト削減を援助するために、様々な税制上の優遇措置プログラムを提供しています。プログラムには企業誘致地域、労働研修プログラム、他州に負けない税額控除プログラム、固定資産税の減額があります。さらに、ミズーリ州高品質職業プログラム (Missouri Quality Jobs Program) は、家族を支援する職業を創出・誘致するビジネスのための優遇措置があり、非常に成功を収めているイリノイ州の EDGE (発展経済の経済開発) プログラムを補足しています。

税金	ミズーリ州	イリノイ州
法人所得税	連邦所得税の50%の控除を含む調整後のミズーリ州課税所得の6.25%。	4.8%の州所得税と2.5% (S-Corp、パートナーシップ、トラスト) の個人不動産買換税を含む7.3%。
課税所得	連邦課税所得に基づいてミズーリ州税を調整。三因子あるいは消費税のみ、いずれか低い税額となるもののみ。	連邦課税所得に基づいてイリノイ州税を調整。州内の消費税のみ収入の分担。
法人所得税	株式発行高の額面価格、および\$1,000,000以上の余剰金、資産総額の0.033%。	払込資本金の0.15%の初回営業税、その後は、最高額200万ドルの払込資本金の0.1%の年次法人所得税。
資産税	住宅用不動産は公正市場価格の19%、商業・産業用不動産は32%、個人財産は33 1/3%で課税される。企業在庫は非課税。	不動産は市場価格の33 1/3%で課税される。個人財産と企業在庫は非課税。
消費税・使用税	有形動産と列挙サービスの購入価格の4.225%。地方消費税も適用され、税率は管轄区域ごとに異なる。	有形動産および限定サービスの購入価格の6.25%。認定食糧、薬品、医療器具の1%で課税される。地方消費税も適用され、税率は管轄区域ごとに異なる。
個人所得税	\$315ドルと、\$9,000を超える邦税の調整後総所得の6%。	修正連邦税調整後総所得の3%。
地方所得税	セントルイス市居住者と労働者は、1%の取得税を払う。セントルイス市の雇用主は、0.5%の給与税を支払う。	地方所得税は無し。

*出典:「2007年州税ハンドブック」2006年CCH



HEALTHCARE PROFESSIONAL



METROLINK



PROJECT ARCHITECT, HOK



ワシントン大学
セントルイス校

グレートセントルイスの企業は、大勢の優秀な従業員を雇用することができます。2005年の地域競争力調査協会 (Council on Competitiveness Regional Survey) の調査によると、企業が求める技能を持った労働者を雇用できることが地域の強みの一つであることがわかりました。

労働力と教育

労働者人口

セントルイス地域には、約140万人の労働者がいます(ミズーリ州部分の地域に110万人、イリノイ州部分の地域に30万人)。およそ110,000人の学生が在学している25校以上の4年生単科大学および総合大学にはおよそ110,000人の学生が在学しており、労働者の技術と知識基盤が最新のものとなるように役立っています。

郡名	労働者	失業率(%)
イリノイ州		
ボンド郡	8,816	4.9%
カルフーン郡	2,672	6.0%
クリントン郡	19,351	4.4%
ジャージー郡	11,947	4.8%
マクーピン郡	25,397	5.1%
マディソン郡	140,570	4.9%
モンロー郡	18,014	3.9%
セントクリア郡	126,310	5.8%
イリノイ州全体	6,613,346	4.5%
ミズーリ州		
フランクリン郡	53,155	5.2%
ジェファーソン郡	117,240	4.8%
リンカーン郡	24,944	5.3%
セントチャールズ郡	188,991	3.9%
セントルイスシティ	158,275	6.9%
セントルイス郡	542,763	4.6%
ウォーレン郡	15,620	5.3%
ワシントン郡	10,099	7.9%
ミズーリ州全体	3,031,105	4.8%
セントルイス MSA	1,464,163	5.0%
全米		4.6%

出典: 2005年労働統計局 (Bureau of Labor Statistics)

主要単科大学と総合大学

学校名	在学者数
ブラックバーン・カレッジ	605
フォントボン大学	2,836
グリーンビル・カレッジ	1,350
ハリスシトウ州立大学	1,662
リンデンウッド大学	9,076
メリービル大学	3,323
マッケンドリー・カレッジ	2,585
ミズーリ・バプテスト大学	4,460
プリンシピア・カレッジ	543
南イリノイ大学エドワーズビル校	13,460
セントルイス大学	14,966
ミズーリ大学セントルイス校	15,548
ワシントン大学	13,383
ウエブスター大学	18,407
計	102,204

最大規模の2年制大学と地域短期大学

学校名	在学者数
イースト・セントラル・カレッジ	3,486
ジェファーソン・カレッジ	4,355
カスカスキア・カレッジ	4,764
ルイス・アンド・クラーク コミュニティカレッジ	7,512
サウスウェスタン・イリノイ・カレッジ	14,479
セントチャールズ・コミュニティカ レッジ	6,870
セントルイス・コミュニティカ レッジ (3つのキャンパス合計)	25,328
合計	66,794

出典: 全国教育統計センター、2004~05年学年度データ



「私は1997年にハーバード大学医学部から生物医学研究所として世界のトップクラスにあるワシントン大学に came ました。以来、150人近くの国際レベルの臨床医や癌研究者を採用してきました。私と同様に彼らもこの地の生命科学の研究や医療の素晴らしい深さに魅了されています。」

医師ティム・エバーリン (Tim Eberlein)、セントルイスにあるワシントン大学医学部外科教授、セントルイス市のアルビン J. サイトマン癌センター (Alvin J. Siteman Cancer Center) 理事

初等・中等教育

セントルイスが誇りとする学校システムは、過去に賞を受けたことがあり、ここで育んだ立派な学歴基盤のおかげで、数え切れない優秀な卒業生を生み出してきました。

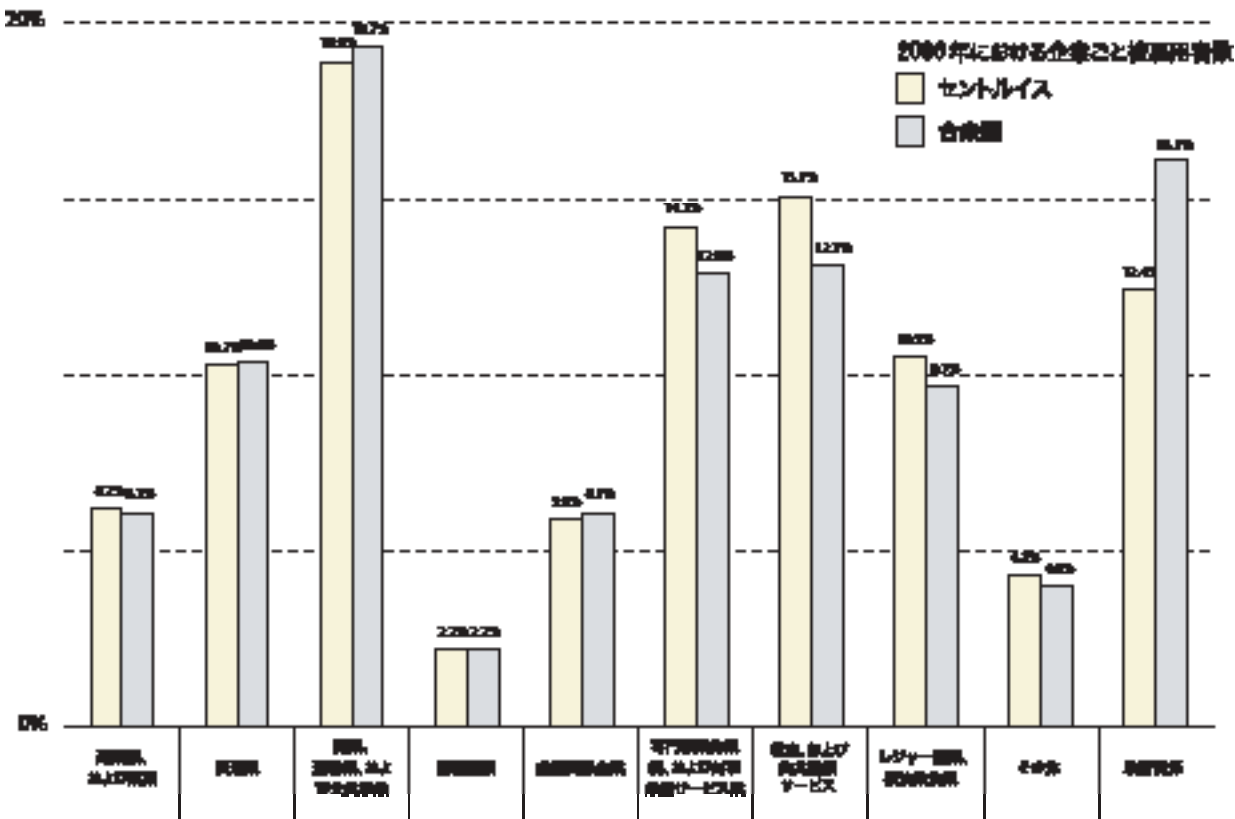
セントルイス地域には、公立学校区が多数、ルテール派の小学校が45校、カトリック教の学校が90校以上など私立の小学校や中学・高校も数々あり、当地のどこに住んでいても質の高い教育の選択肢があることを保証します。

さらに、セントルイスにはチャーター・スクールが10校あり、当地に住む家族にさらに多くの選択肢を提供しています。

さらに、セントルイス特別学校区 (SSD) は国内で特別教育を提供している優れた学校のひとつであり、30,000名以上の生徒を教育しています。SSDはセントルイスの学校区23区にある265校の公立学校で教育をしており、97%の生徒が地区内の学校に通うことができます。

この地域には、ミズーリ州盲学校 (Missouri School for the Blind)、アメリカ中央聾研究所 (Central Institute for the Deaf)、ムーグ聾教育センター (Moog Center for Deaf Education)、セントジョセフ聴覚障害学校 (St. Joseph Institute for the Deaf) を含む視覚障害や聴覚障害を持つ生徒のための有名学校もあります。

産業ごとの従業員数略上の立地条件



出典:「現在の雇用先の雇用状況、労働時間、収入に関する統計データ」2007年米労働統計局

大セントルイスには4年生単科大学や
総合大学が28校あり、学士、修士、博士を修めた
生徒が毎年、25,000名以上卒業しています。

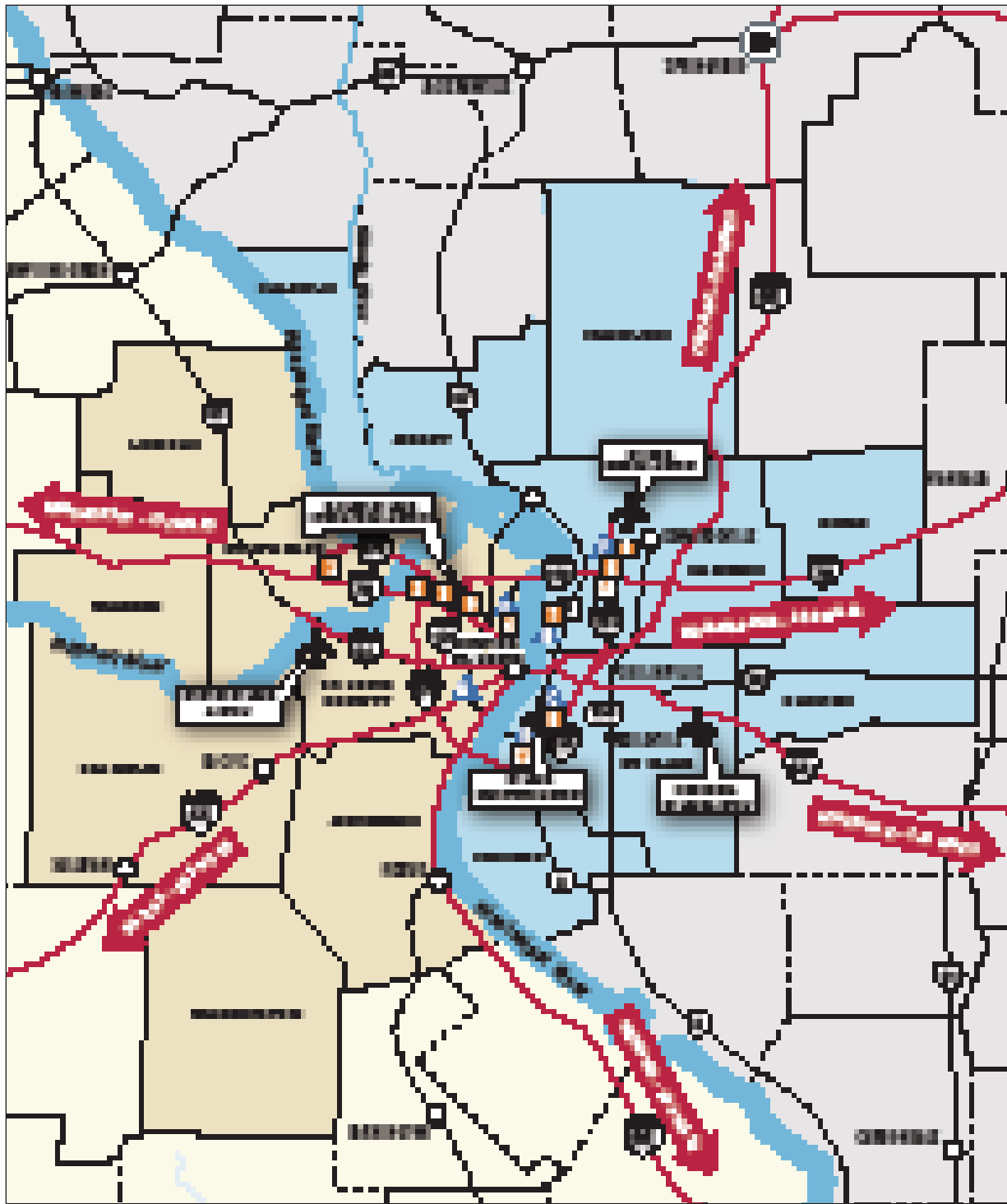
1.46万人
大セントルイス
の労働者数

賃金比較表

業種	職業	セントルイス都市統計 地区の平均年収	米国平均年収
先端製造業	製造作業員を管理する第一線の スーパーバイザー/マネージャー	\$54,620	\$50,480
	産業エンジニア	\$75,230	\$70,630
	機械製作工	\$36,850	\$35,810
	機械エンジニア	\$68,260	\$72,580
	工具と金型職人	\$49,590	\$45,650
金融業	会計士・監査人	\$62,780	\$60,670
	保険数理士	\$117,350	\$91,810
	信用分析家	\$53,610	\$60,190
	金融分析家	\$64,870	\$77,280
	保険業者	\$51,220	\$57,960
情報技術 (IT)	融資担当者	\$57,130	\$61,930
	コンピューター・情報システムマネージャー	\$99,870	\$107,250
	コンピュータープログラマー	\$66,610	\$69,500
	データベース・アドミニストレーター	\$61,380	\$67,460
	ネットワーク・コンピューターシステムのアド ミニストレーター	\$62,700	\$65,260
植物科学および生命科学	生物医学工学者	\$75,640	\$78,030
	食品化学者と技術者	\$60,850	\$59,260
	医療および臨床検査技師	\$32,130	\$34,620
	伝染病学者以外の医学者	\$62,230	\$70,350
	微生物学者	\$54,610	\$65,200
運輸・流通	土壌・植物科学者	\$46,000	\$59,330
	運送・資材運搬機・車両運転者の 第一線のスーパーバイザー/マネージャー	\$55,720	\$50,990
	作業員や貨物、材木、資材運搬人	\$25,580	\$23,050
	物流専門家	\$64,230	\$65,640
全職業	トラック、重機、トラクタートレーラーの運転 手	\$38,750	\$36,320
		\$38,930	\$39,190

出典：労働統計局 (Bureau of Labor Statistics)
2006年5月のデータ

LOCATION AND ECONOMIC DEVELOPMENT



主要流通センター

- 1 プレミア380-セント・ピーターズ
- 2 デューク・アース・シティ
- 3 リンドバーグ・ディストリビューション
ヘイズルウッド
- 4 ノース・ブロードウェイ・ディストリビューション
- 5 レイクビュー・コマーシャル・センター

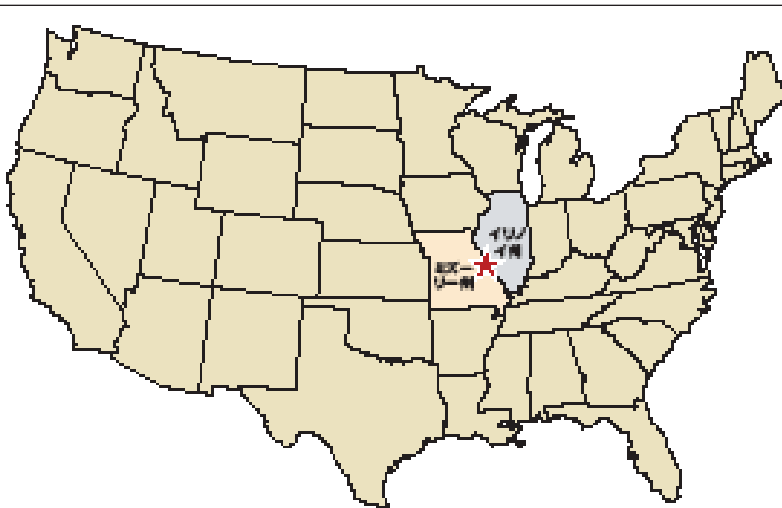
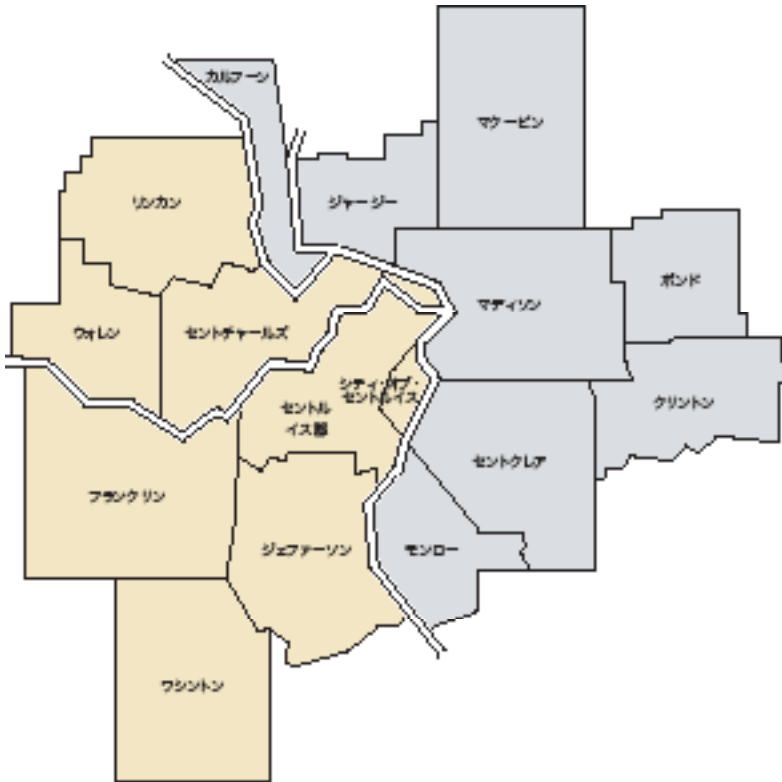
- 6 ゲートウェイ・コマーシャル・センター
- 7 ミッド・アメリカ・ロジスティクス - TCPD
- 8 255 ロジスティクス・ソーゲ
- 9 ノース・パーク600-セントルイス (統合)
- 10 オブス・パーク600 (統合)
- 11 ディスカバリー・パーク

インターモーダル施設

- A BNSF インターモーダル
- B ユニオン・パシフィック
- C CSXレール・ヤード
- D トライシティ・リージョナル・ポート
- E ノーフォーク・サザン・F インターモーダル
- F NS/トリプル・クラウン・インターモーダル

大セントルイスには、様々な方法で完全な中心に位置しています。当地は中央時間帯にあります。地理的に米国の中心に位置し、国の人口が集中している大都市圏に最も近い位置にあります。また、突然の経済変換の影響による脆弱性を少なくする非常にバランスの取れた経済と幅広い技能のある労働力を提供しています。さらに、セントルイスは国内商業の中心地とする優れた通信網や交通網によって結ばれています。

所在場所と経済発展



人口の変化

1980年 - 2006年

1980	2,414,091
1990	2,492,525
1995	2,539,800
2000	2,603,607
2006*	2,796,368

*イリノイ州・ミズーリ州のセントルイス圏は2003年に12郡から16郡へと拡大されました。

都市地区の郡

ミズーリ州の郡	2006年の人口
フランクリン郡	100,076
ジェファーソン郡	216,469
リンカン郡	50,123
セントチャールズ郡	338,719
セントルイス市	353,837
セントルイス郡	1,000,510
ウォレン郡	29,685
ワシントン郡	24,182

イリノイ州の郡	2006年の人口
ボンド郡	18,055
カルフーン郡	5,177
クリントン郡	36,633
ジャージー郡	22,628
マクーパー郡	48,841
マディソン郡	265,303
モンロー郡	31,876
セントクレア郡	260,919

年齢構成

年齢層別人口百分率

	セントルイス地域	米国
20歳以下	27.3	27.8
20-24歳	6.7	6.7
25-34歳	12.7	13.5
35-54歳	30.6	29.6
55歳以上	22.8	22.5

出典: 米国勢調査局



「大セントルイスには、東西南北に通じる輸送経路、すぐに開発できる豊 すぐに
開発できる豊かで手頃な値段の土地、
高い技能、意欲、経験に満ちた多数の労働力など流通に必要な全ての要素がそろ
っています。
地方や国の流通施設に申し分のない立地条件です。」

エド・イーレンバーガー (Ed Ehrenberger)、GENCO 総支配人、
イリノイ州マディソン郡にあるハーシースやユニリーバの流通コーディネーター

社会基盤(インフラ)

合衆国の中心にあるセントルイス地域は、信
頼があり費用効果の良いエネルギー、事実上
無制限な水供給能力、また主要電気通信企
業や情報技術企業から先端製造業とバイオ
技術企業までにわたる特別通信資源など比
類のないアクセスをご利用いただけます。

電力・ガス

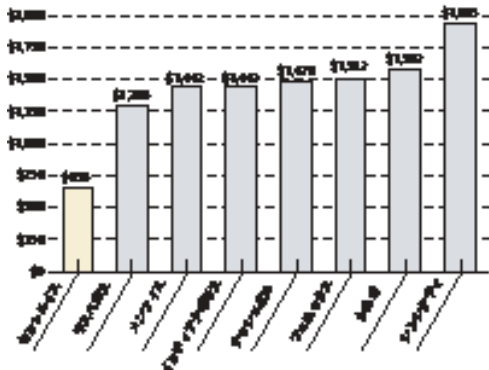
セントルイスに拠点を置くアメン社 (Ameren Corp.) とラクリード・
ガス社 (Laclede Gas) は、この地域の主要なサービス会社です。当地
の天然ガス料金は他の主要大都市圏内の価格に比べて非常に価格
優位性がある一方、電気料金も商用と産業用使用者にとって国内で
最も低い料金となっています。

電気通信

当地のほとんどの地域では、AT&Tとチャーター・コミュニケーションズ
(Charter Communications) を利用しています。主要ファイバー基幹
通信網に近いこと、通信業者の多様性により、幅広く多数のサービス・
プロバイダーがあるので選択も可能です。この基幹施設は1日当たり
最高4000万を処理するマスターカードのグローバル・テクノロジーお
よびオペレーション・センターをサポートしています。ロイター社が北
米ソフトウェア開発センターの拠点としてセントルイスを選択した理
由の一つはこの地域の電気通信ネットワークの質の高さだ。

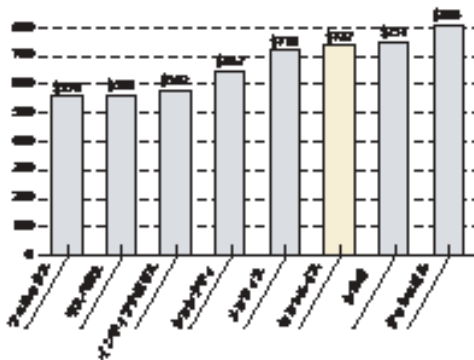
標準的商業用電気料金*

(一ヶ月につき100kW又は10,000kWh)



標準的商業用ガス料金*

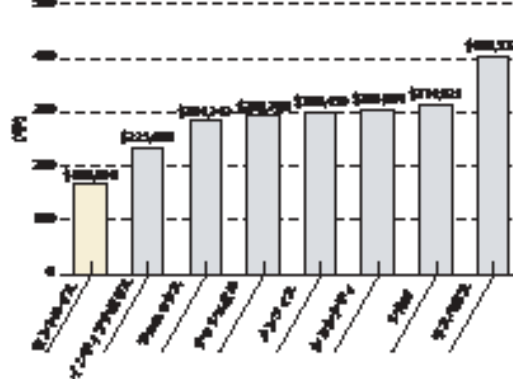
(一ヶ月につき500サーム)



*Source: Memphis Light, Gas & Water, January 2006 rates for similar metro areas.

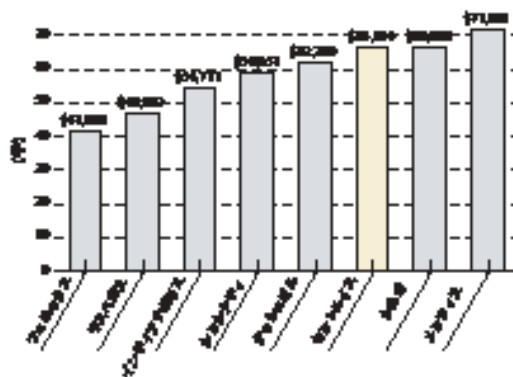
標準的産業用電気料金*

(一ヶ月につき5,000 kW 又は 5,000,000 kWh)



標準的工業用ガス料金*

(一ヶ月につき50,000 サーム)



地理的面、人口面の両方で国のほぼ中心に位置するセントルイスは、500マイル以内に米国の3分の1の人口、また1,500マイル以内に北米大陸の人口と国内総生産の約90パーセントがあります。

21

社が
セントルイスに
本拠地のある

運輸

セントルイスは、空路、鉄道、幹線道路、水路の4種類の運輸手段を利用できる米国でも数少ない地域の一つです。数多くの選択肢によって、国内における出荷コストが低減され、出張やレジャー旅行の利便性がさらに増します。

航空

セントルイス地域の主要空港であるランバート・セントルイス国際空港(Lambert-St. Louis International Airport)は国際拠点であり、ターミナルが2つ、コンコースが5つ、搭乗口が83の、航空会社が20社利用しています。2005年には1,470万人の旅行客が利用しています。2006年9月までの年率データによると利用客が5%以上増えています。オフィシャル・エアライン・ガイドによると、当空港は一日におよそ90ヶ所の目的地へ向かう直行便が480便あります。

10億ドル拡張事業は9,000フィートの滑走路建築と収容人員改善事業を行い、2006年に完成しました。これによって、特に、悪天候による遅延を最小限に抑えます。空港のターミナルを改修する事業が費用1億500万ドルを予定して始まりました。この改修事業によって主要ターミナルのコンコース、発券カウンター、セキュリティ、手荷物受取所、洗面所、売店、および到着用、出発用制限領域のガラス製ドームカバーなど全領域の外装や機能が改善されます。

ランバート・セントルイス国際空港に乗り入れている航空会社

エアカナダ	ミッドウエスト・コネクト
エアトラン	ノースウエスト
アメリカ・ウエスト	サウスウエスト
アメリカン	ユナイテッド
コンチネンタル	USエアウェイ
デルタ	USA 3000
フロンティア	

出典: ランバート・セントルイス国際空港

ミッドアメリカ空港はセントルイス地方の第二商用空港として、またランバート空港への救済用空港として利用されています。イリノイ州セントクリア郡に位置しており、隣接する800エーカーの工業団地などを含む、旅行者のための最新施設、交通機関、貨物輸送を提供しています。10,000フィートの滑走路、8,000フィートの滑走路があり、貨物専用機、商用便、軍用機に利用しています。

地方空港

セントルイス郡のスピリット・オブ・セントルイス空港
(Spirit of St. Louis Airport)
イリノイ州セントクリアのセントルイス・ダウンタウン空港
(St. Louis Downtown)
イリノイ州マジソン郡のセントルイス地方空港
(St. Louis Regional Airport)

幹線道路

利用しやすい運輸基盤には、この地域を国内の北南と東西の州間幹線道路システムで結ぶ、4つの州間幹線道路(I-44、I-55、I-64、I-70)と4つの州間連絡道を含みます。このシステムの合計距離は325マイルを越え、移動が便利で簡単になります。

鉄道

セントルイスにはクラス1の鉄道と短線の産業鉄道が数本発達しています。国内最大の鉄道センターがあり、多数の従業員を抱えています。

クラス1

パーリントン・ノーザン・
サンタフェ
カナディアン・ナショナル鉄道
CSXトランスポートーション
カンザスシティ・サザン
ノーフォーク・サザン

ユニオン・パシフィック

出典: アルトン・アンド・サザン鉄道

短線

アルトン・アンド・サザン鉄道
セントラル・ミッドランド鉄道
マニファクチュアラーズ鉄道カ
ンパニー
ターミナル・レールロード

水路

2004年米国防軍工兵隊によると、ミシシッピ川とミズーリ川、イリノイ川の合流点に位置するセントルイスには、航海トンマイル単位では国内で2番目に大きな内陸港(年間240億航海トンマイル以上)があります。最北にある年中を通しての不凍港としての位置が、競争上の優位性を増します。この港には、主要荷船が利用しており、100以上のドックと臨港施設を提供しています。また、セントルイスはミシシッピ川、ミズーリ川、オハイオ川、イリノイ川、テネシー川、および五大湖、メキシコ湾にある15州にわたる工業センターと結ばれています。

海外貿易地区

セントルイス地域には、トラック、鉄道、荷船、および飛行場に近い便利な場所に2ヶ所の海外貿易地区用地と4つの小区分用地があります。

インターモーダル施設

セントルイスには最新のインターモーダル施設があり荷役作業の軽減、セキュリティ改善、損害の軽減により貨物輸送の迅速化など貨物運送業界にたくさんの利点をもたらしています。主要インターモーダル施設は以下の通りです。

- BNSFインターモーダル
- CSXインターモーダル
- ノーフォーク・サザン・インターモーダル
- トライシティ地域ポート・ディストリクト
- トリプル・クラウン・サービス
- ユニオン・パシフィック・インターモーダル



CENTRAL WEST END DINING



FOREST PARK



DOWNTOWN



セントラル・ウエスト・エンドの
近郊の人たち

独身、家族持ち、スポーツファン、芸術に目の肥えた方、フィットネスマニア、映画の熱狂的なファンといった方々にも楽しんでいただける何かグレートセントルイスにはあります。セントルイスは米国で18番めに大きい都市ですが、快適さと魅力の全てを考慮した場合、驚くほどの利便性と簡単なアクセス、および低い生活費を提供しています。

質の高い生活

近郊の人達

グレートセントルイスの特徴と魅力は明らかに豊かな多様性から起因しており、今日の大都市ではめったに見られない連帯感を生み出しています。二つの州には郡が16あり、都会、郊外、小都市、田舎での生活からお好みのライフスタイルを選ぶことができ、セントルイス地域は独身の方や家族持ちの方に同様のオプションを提供しています。

スポーツ

スポーツはセントルイスがNO.1であり、誇りとしています。ザ・スポーティング・ニュース(The Sporting News)は、2000年にセントルイスを「最高のスポーツの町(Best Sports City)」に、2005年には「ベスト・ベースボール・タウン(Best Baseball Town)」と名付けました。セントルイスは、スーパーボウル・チャンピオンのラムズ、ワールドシリーズ・チャンピオンのカージナルス、スタンレーカップのハングリーなブルーズなど観戦を楽しめるチームがたくさんあります。セントルイス地域には、オートスポーツのゲートウェイ国際レース場(Gateway International Raceway)や、競馬のフェアマウントパーク(Fairmount Park)があります。また、この地域は、大学の競技リーグであるビッグ10とビッグ12カンファレンスの真っ最中にあります。

娯楽(レクリエーション)

セントルイス領域には、全国的に賞賛されているフォーレスト・パーク(森林公園)など公園が100以上あります。広さ1,300エーカーのフォーレスト・パークは国内でも最大級の都市公園のうちの1つで、最近1億ドルの改修事業を完了したばかりです。大セントルイス圏には公園の数と同じくらいの公営・私営ゴルフ場があり、サイクリング、ジョギング、散歩のコースが200マイル以上あるものもあります。ハイキングやサイクリングのコース網は、当地の大きな川につながっており、国内最高のコースの一つです。

芸術とエンターテインメント

グレートセントルイスが持つ世界レベルの文化施設に匹敵する町はほとんどありません。セントルイスには国際的有名なセントルイス交響楽団(Saint Louis Symphony)、ミズーリ植物園(Missouri Botanical Garden)、セントルイス動物園(Saint Louis Zoo)があります。セントルイス科学センター(Saint Louis Science Center)とミズーリ歴史博物館(Missouri History Museum)は、この種の施設の中では国内で最も高く評価されています。セントルイス美術館(Saint Louis Art Museum)の館内やローメイヤー彫刻公園(Laumeier Sculpture Park)の屋外で、最高の芸術作品を探索できます。セントルイス・ブラック・レパートリー劇団(St. Louis Black Repertory Company)は国内トップ3のアフリカン・アメリカン劇団であり、セントルイスのオペラ劇場(Opera Theatre)は全国的に有名な劇場です。プロジェクト・フォー・パブリック・スペースズ(Project for Public Spaces)誌は、シティ博物館(City Museum)を「世界ベスト10の公共施設」としてとしました。ファミリー・ファン(Family Fun)誌が、セントルイスを「観光客にとって最高の中西部の町」と名付けたことも驚くべきことではありません。



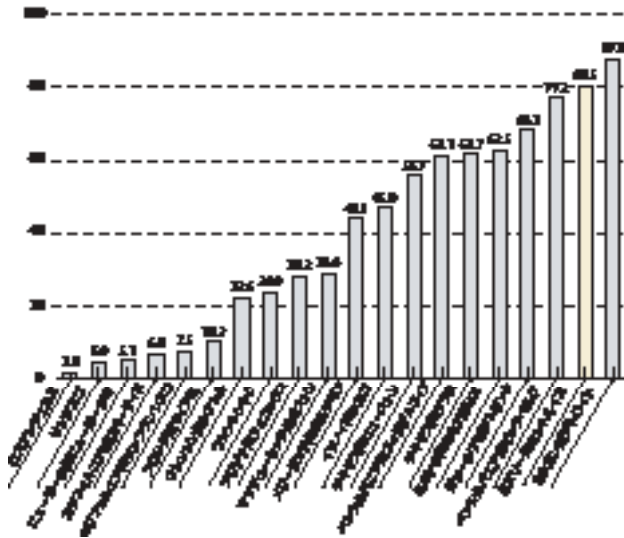
「セントルイスの歴史的で豪華な建築物は、その地区に類まれな魅力と品格を与えています。これらの建築物を復元しその隣接地域を支援してバイタリティと多様性を回復させたことは、非常に実りのあるものでした。セントルイスはビジネスを構築し家庭を築くには最高の場所であり、例外なく、アメリカの美味しい料理を味わえる素晴らしい場所です。お手頃の価格で美味しい料理をお楽しみいただけます。」

エイミー (Amy) と アムリット・ジル (Amrit Gill)、コロラド・プレース (Coronado Place) の土地開発業者であり経営者、セントルイスの市にあるムーラ (Moolah)、リンデルタワーズ (Lindell Towers)

住宅価格の比較

大セントルイスの住宅ストックは大きく多様で、手頃な価格です。全米住宅産業協会 (National Association of Home Builders) は家の価格と世帯収入に基づき、国内20の大都市の中からこの地域を2番めに家を購入し易い地域であるとなりました。特にイリノイ州は、近年、前例にない程の住宅の建築や販売が行われており、マディソン郡やセントクレア郡の安く広大な土地に「夢の家」を建設する住人が多くいます。

中間収入で購入可能な家の割合



お問い合わせ先のご案内

セントルイス地方会議所および発展協会 (St. Louis Regional Chamber & Growth Association略してRCGA) は、ミズーリ州とイリノイ州の計16郡を含むグレートセントルイスの商工会議所および経済開発組織です。RCGAは対象としている産業を地域に誘致するために、セントルイス地域について国内や海外に宣伝活動を行っています。地域内の企業拡大と起業を援助することにより、さらなる経済発展に拍車をかけています。

セントルイス地方会議所および発展協会

One Metropolitan Square, Suite 1300

St. Louis, MO 63102

電話:314-231-5555

ファックス: 314-206-3244

www.gotostlouis.org



2007年8月発行